

2024年10月15日（火）

老球の細道833号

## Bリーグ2024～25シーズン開幕

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今年も B リーグの2024～25シーズンが開幕した。今シーズンから「りそなグループ」がメーンスポンサーになり「りそなグループ B リーグ」と名称が変更になり、コートデザイン、レフリーカッター、TO ジャンバーなどのデザインも新しくなった。

開幕戦が全国各地で行われたが、特に B1 の試合は観客が1万人近く入った会場もあり、バスケットボールのワールドカップ、東京、パリ五輪効果を彷彿させた。また、今シーズン NBA から B リーグ千葉ジェッツに移籍した渡辺効果もあってか、千葉対宇都宮の試合はテレビ放映もあり多いに盛り上がった。

余談になるが、B リーグは2026年から「プレミアリーグ」と名称を変更し、3つの条件をクリアしたクラブがどこでも参入できるようになるらしい。条件とは①5千人以上収容でき、かつ VIP 席の付帯したホームコートアリーナを持っている②今後2シーズンにわたって入場観客数が平均4千人以上を達成する③売上高12億円以上、の3条件である。これによって、B リーグを米国 NBA に次ぐ世界 NO2 のプロバスケットリーグにするという壮大な目標を抱いている。

私は今シーズンも B リーグ福島ボンズのホームコートを仕切る「ゲームディレクター」を引き受けることになった。2016年に NBL と bj リーグが統合されて「B リーグ」となってから8年間この仕事をしているが、毎年、毎試合何か起こるかわからず緊張の連続である。初めの頃はクラブからのクレームやレフリーとコーチ達のバトルに神経を使わされたが、最近ではリーグのガバナンスやレフリーの向上によってクリアな試合が行われている。

今シーズンは開幕第1節から担当になり、10月6日（日）須賀川アリーナ、10月12日（土）13日（日）あづま総合体育館で3試合の仕事を終えた。3試合とも痺れるゲームだったので、仕事をしながらトップリーグの迫力あるゲームを堪能した。

今シーズンの福島ファイヤーボンズは選手、スタッフを大幅に入れ替え、次なるシーズンの B1、B プレミアムリーグ入りを狙う。そのためにも北海道から移籍した会津出身の上杉翔アシスタントコーチの手腕に期待が弾む。ヘッドコーチ、アシスタントコーチ共に福島県出身者であり、地元の期待はどれほど高まるかはわかり知れない。

試合前の練習においてもボンズチームは非常に統制が取れ、全員が高校生のように一生懸命に取り組む。上杉コーチも運動着に着替えて、プレイヤーのダミーディフェンスやリバウンドなどで身体を動かし、選手にアドバイスを与えながら献身的に仕事をこなしていた。

現在 B リーグで活躍する会津出身者は、私が把握しているところで4名。コーチの上杉氏（福島ボンズ）、プレイヤーで高木拓海氏（大阪エベッサ）、川島蓮氏（B3 東京 U）、そしてレフリーの芳賀聡氏（会津若松市役所）である。今後さらに多くの会津人がトップリーグで活躍することを期待する。私も一度は B リーグのコートに立ちたかった。今は夢幻なり。